

ヨーロッパ思想演習

2 units (selection) 3rd-year(1st semester), 4th-year(1st semester)

Michio Ishida · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 卒論作成に向けて、文献検索の仕方や論文の読み方・論文作成の指導を行う。ヨーロッパの哲学思想に関わる文献を読むと共に、またそれに関わる哲学・倫理学の概念について討論し、プレゼンテーションの力も養う。

Outline) 主に近現代ドイツの哲学思想について学ぶ。カントやヘーゲルの哲学といったオーソドックスな哲学以外に、現代の環境倫理や広く自然哲学、自然美学などに関わる事柄も学ぶことができる。受講生は自分でテーマを設定して発表を行う。

Keyword) 哲学, 倫理, ヨーロッパ思想

Goal) ヨーロッパ思想に関わる知識を身につけ、論理的な思考や論理的な文章を書く能力の養成を目標とする。

Schedule)

1. 過去の哲学思想を学びながら、現代社会のあり方、人間の生き方について考える。哲学思想に関わる文献を読みながら、その間に受講生による発表を行う。
2. 最近の卒論のテーマは、「スピノザ哲学の考察—決定論と自由の整合性から—」、「グレゴリオ聖歌について」、「ミケランジェロによる三体のピエタ」などである。

Evaluation Criteria) 発表したレジュメと出席で評価する。

Re-evaluation) なし

Reference) そのつど資料を配付する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220152>

Contact)

⇒ Ishida (2328, +81-88-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 水曜日14時~15時)